

カタポケで
 広報うえのはら
 配信!!

お知らせ

スマホで読める! しかも **7 言語対応!!**
 カタログポケットで広報うえのはら配信中!!

陶芸家ジェンギズさんにインタビュー
 カタログポケットの感想を聞きました

私は、トルコ共和国出身で、現在は桐原地区で陶芸家として生活し、羽置の里びりゅう館などで個展を開いたりしています。日本語に不慣れな外国人移住者は、地域の情報を得ることが容易ではありません。今回の多言語機能がついたサービスは、地域のみなさんとつながるきっかけにもなります。またトルコに住む両親にも私の住む街を紹介できます。市内に住む外国人のみなさんや多くのみなさんにこのサービスの利用をオススメします。



陶芸家 ジェンギズさん



カタログポケットの主な機能

- ブラウザでもアプリでも、スマホやタブレットで読める
- 7言語で読める【日・英・中（簡体）・中（繁体）・韓・タイ語】
- 音声読み上げもできる
- 文字サイズを調整できる

Delivering e-book in English



右の QR コードを読み取れば、簡単に広報うえのはらが閲覧できます。

無料 FREE APP



※ブラウザ版は音声読み上げに対応しておりません。音声読み上げには、無料アプリ（カタポケ）のインストールが必要です。 ▲このアイコンが目印

有料広告

相続対策は
はやい者
勝ち!!

先ずは **相談** を

● 各種許認可申請
 ● 遺言・遺産分割協議書

● **杉本行政書士事務所**
 行政書士・ファイナンシャルプランナー **杉本泰廣**
 電話 **0554-63-3871** (FAX 兼用)
 住所 **上野原市上野原 2361-6** (三栄精器 隣り)



9月号 『総合支援法の補聴器は...』

障害者総合支援法で身体障害者障害程度等級のいずれかに該当した場合、補聴器の購入費用が補助されることは知っていても、対象となる補聴器が、お店の契約しているメーカーによって性能がことなることは、意外にも知られておりません。

わが社が契約するワイデックス補聴器は、他のメーカーよりも、より優れた機種を障害者の方に提供したいということで、最新性能を備えた補聴器を対象機種に指定しました。ぜひ、ワイデックス補聴器をお試しください。

聞こえの不安でも悩んでおられる方がいらっしゃいます。まずは眼科・耳鼻科の先生のごところに行き、診察してもらってください。そして矯正が必要となれば、創業85年を迎え、最新の検査機器を導入した「**新生みやがわ**」にご相談ください。生涯お付き合いできますよう誠心誠意サポートさせていただきます。

認定補聴器技能者 **宮川 学**

とけい・めがね・補聴器 **みやがわ**

ふらっと上野原 検索
 電話 **0554-63-0234**



絵馬に込めた想い
 福島県南相馬市

有料広告募集 (裏表紙3枠・くらしのガイド下段)
 市では、広告主を募集しています。事業主などのみなさん、ぜひ、ご活用ください。▶企画課政策推進担当 (☎ 62-3118)



この広報は、環境保護に配慮した再生紙と、植物性インキを使用しています。



市の花
「リンドウ」



市の木
「ヤマモミジ」




市の鳥
「ウグイス」

contents ~今月の掲載~

18	16	15	14	12	10	4	2
くらしのガイド 第3回『わかば感謝祭』に今年も出 かけよう☆他／平成29年上野原市 立病院9月の外来診療／9月の各種 相談日・申請期限・窓口業務	今月の健康レシピ／保健師からのメ ッセージ／保健だより／伝言板	うえのはら健康家族 オコシタイ通信 たまじまる大活躍	もしもしこちら市長室 市長のひと言／ある日の市長	クロスアップニュース ・重度心身障害者医療費助成事業 ・敬老祝金等支給事業 ・再生可能エネルギー固定価格買 取制度改正 ・平成29年度上野原市各地区敬老会	『老朽化対策』『災害時廃棄物対策』 クリーンセンターの	大切なことに、気付くこと 福島県南相馬市の子どもたち 特集 藤森長一郎さん	フロントページ ザフェイスオブうえのはら ふじもりちよういちろう 藤森長一郎さん (上野原地区在住)

30	28	27	26	24
広報担当者が行く 寄り道うえのはら	国指定重要無形民俗文化財無生野大念仏 想いを託す託される者	写真レポート 建設工事の進捗	くらしのガイドプラス ・就業構造基本調査 ・新規甲種防火管理者資格付与講習会 ・「林業基礎知識セミナー」 ・「実践成果物公開セミナー」 ・(仮称)上野原市総合福祉センター 建設工事の進捗	すくすく育て、うえのはらっ子 我が家の主役／子育てサポート情報／子 育て応援掲示板／おめでとう・おみやみ 「おトククーポン」掲載 スマイルニュース リンデンだより



※詳しくは、32ページの裏表紙をご覧ください。今回は、陶芸家ジェンギズさんへのインタビューを掲載。

多言語デジタルブック『カタログポケット』を始めました!!
便利な機能がたくさん!!

~今月の表紙~

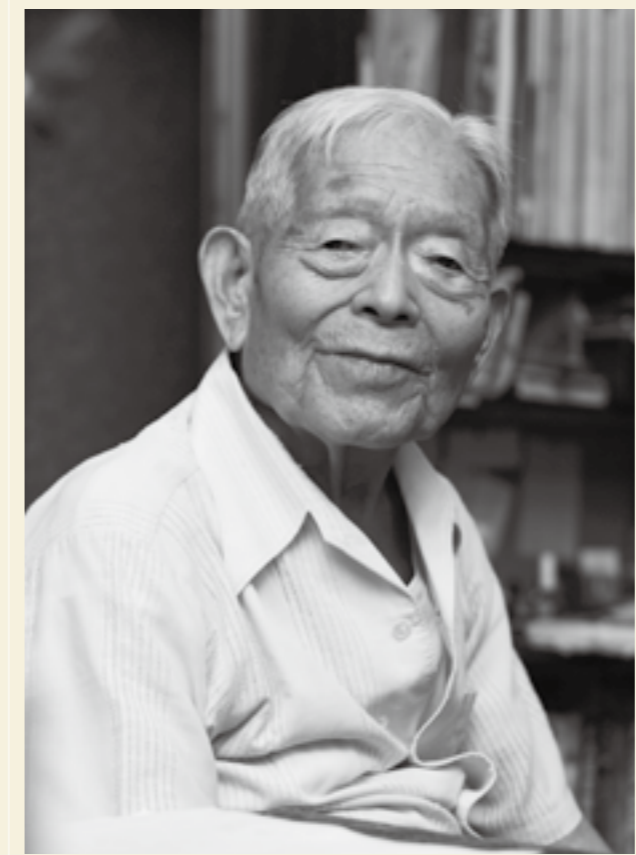


今月の表紙は、福島県南相馬市鹿島のある神社に掛けられた絵馬です。多くの子育て世代の親や子が他県に避難して生活するなか、子どもを育てて生きていく親の想いは、どれほど純白でまっすぐなものなのでしょう。みなさんは被災地の今をどのくらい知っていますか？あなたの関心が子どもたちの未来につながります。

~人の動き~

人口と世帯 (平成29年8月1日現在)		
	人口	対前月比
人口:	23,850人	-28
男性:	11,906人	-13
女性:	11,944人	-15
世帯:	9,940世帯	-1

Front page



The Face of Uenohara
うえのはらの顔
#62

渡辺金物店
ふじもり ちよういちろう
藤森長一郎さん
(上野原地区在住)

『100歳になっても、この金物店とともに』

大 正6年7月生まれで、100歳になる藤森長一郎さん。藤森さんは、長野県諏訪市の出身で、小学生の頃、富士吉田市内の金物店へ奉公に入り、多感な少年時代を過ごした。20歳の時、奉公先の店主に「上野原にいて渡辺金物店を継いでいい」といわれ、急遽、金物店の店主として働くことになった。店を任された藤森さんは、親戚や知り合いがいらない土地で一生懸命に働いた。しかし、当時は戦争が激しくなっていた時代、売れる品物も入手できず、商売を続けることが厳しかった。一時は、生活費を稼ぐために、東京の三鷹にある会社に勤めることもあった。

終戦後も物が無い時代が続いた。藤森さんは、知人や以前付き合っていたお客さんに麦や米を分けてもらいながら、妻と子どもを養い、なんとか戦後の混乱期を乗り越えた。日本の復興が進み、商品が問屋から入手できるようになると、渡辺金物店を再開できるまでになった。養蚕が盛んだったときは、機屋の道具が売れ、町工場で使う機械器具の注文も多く、収入が増え生活が安定した。しかし、順風満帆にみえた藤森さんだが、苦勞も絶えなかった。お店の土地が借地だったことから、その保証人探しに苦勞した。しかし、知人が手を差し伸べ保証人になってくれたことで、この大きな難局を乗り越えることができた。

藤森さんは、『まったくの他人で親戚もない私を信用して保証人になってくれたことが、本当にうれしかった。ここまで続けてこれたのも、私を支えてくれた人がいたからこそまでやってこれた』と当時を振り返る。現在、息子の英雄さんに店を任せ、自身は店の番を手伝う。

藤森さんは、『100歳になった今、知人も少なく寂しさもあるが、これからも渡辺金物店とともに、このまちで生きていきたい』と店の奥で、80年間見続けてきた景色を眺めながら話してくれた。

CHOUICHIROU FUJIMORI



(上) 商店街の中心地、日大明誠高校入口交差点近くにたつ、渡辺金物店。(下) 100歳になった藤森さん。店の経営は、息子の藤森英雄さんに任せているが、今でも店の番を務める。

福島県南相馬市の子どもたち

特集 大切なことに、気付くこと

和紙の先で明滅する光彩
その「序破急」に想いを巡らす



8 月2日(水)～5日(土)の4日間、県立ゆずりはら青少年自然の里で南相馬市児童受入事業が行われた。ついこの間まで、自由に外で遊ぶことができなかった南相馬市の子どもたち。今回参加した39名の子どもたちは、川遊びなどを通じて、何を感じたのだろうか。

東 日本大震災や福島第一相馬市の子どもたちが経験し、心に刻まれたものとはなにか。原発から遠く離れた場所に住む人は、そのことにどれだけ考えを巡らすことができているだろうか。南相馬市児童受入事業の本質的な意義をこの事業に関わった人々の取り組みから迫った。

写真解説：①線香花火は、「起承転結」や「序破急」に例えられ、人の命に重ねられる。南相馬市の子どもたちは、線香花火を見つめ何を思い巡らせているのだろうか。②友だちの花火を見つめる子ども。③上野原市で過ごす最後の夜、線香花火を見つめる目はどこか寂しげだった。④バケツの水面に光彩が反射する線香花火。⑤キャンプファイヤーの火に花火を近づける子どもと、心配そうに見つめる友だち。⑥10日ごろ川遊びをしない南相馬の子どもたち。この日は本当に楽しげだった。⑦友だちと河原で食べるスイカは格別。⑧みんな食べるスイカ。運ぶのも責任重大です。⑨高さ1m程の堰堤から飛び込む怖さから解放され、安心した表情を見せる子どもたち。⑩歩く場所を探りながら川をさかのぼる子どもたち。⑪川遊びが初めてという子どもたち。川に入るまでは慎重でした。⑫楽しい時間はあっという間です。川遊びを惜しみながら、自然の里に戻る子ども。※『序破急』とは、雅楽で、楽曲を構成する三つの楽章。すべての物事の、始め、中、終わりをさし、物事の展開していく流れのこと。能や芸能などにもちいられる。



福島県南相馬市児童受入事業

Interview 2

大人たち一人ひとりの責務

外 で自由に遊ぶことができない南相馬市の子どもたちのために何かできないかと始まったこの事業。二年前に初めて実施した際の子どもたちの印象と今回の子どもたちの印象では、少し変化してきたように感じました。福島第一原発事故にともなう規制も徐々に解除され、除染も進み、子どもたちにかかる物理的、精神的ストレスが軽減されてきているのではないかと感じました。また、少しでも子どもたちのストレス軽減に、この事業が役立っていたのであれば、意義深い事業だったと思っています。私が一番印象に残っ

ているのは、子どもたちと一緒に夕飯を食べた際に見せてくれた笑顔です。南相馬市の子どもたちは、東日本大震災や福島第一原発事故によって、つらい経験をしています。私は、あのとき見せてくれた子どもたちの笑顔をいつまでも絶やさないため、未来に生きるすべての子どもたちのためにも、震災や原発事故、また今回実施した受入事業から感じ学んだことを教育行政に生かしていきたい。子どもたちには、これからの社会を生き抜く力を育むために行政、学校、社会とが協働、連携しながら、各種事業にあたりたいと思います。



上野原市教育委員会
和田正樹 教育長

Interview 1

子どもたちの未来のために

南 相馬こどものつばさは、放射能という見えないものに恐れ、怯えながら生活を送る子どもたちに、これらのことを全部忘れて、自然のなかで思いっきり遊ばせたいとの思いから、南相馬市内小中学校のPTAがNPO法人を立ち上げました。この事業は、南相馬市と協働し子どもたちの心身のケアや県内外にバラバラに避難した子どもたちの再会の場として、これまで市外の支援者と協力しながら続けてきました。私は、南相馬市の子どもたちに、さまざまな体験や今までにない考

え方をする人との出会いによって人として大きく成長してほしいと願っています。この事業の意義は、単なる保養や交流事業に留まりません。この事業の本当の意義は、物事の核心を捉え行動し、また感謝され、人の上にたてるような人材の育成にあります。そのことが本当の意味での南相馬市の未来につながっていくのだと考えています。参加した子どもたちだけでなく、この事業にかかわるすべての人が、人として生きるということを、この事業を通じて考えるきっかけになればと願っています。



NPO 法人南相馬こどものつばさ
西道典 代表

本 市におけるこの事業の目的は、子どもたちの表情や言葉などからしても達成できたと言っている。ただ、今後は、この目的達成を糧としながら、この事業から感じ学んだことを生かしていく必要がある。そのためにも、この事業から何を感じ学ぶことができたのか。行政をはじめ市民のみならず、南相馬市の子どもたちの表情や声に耳を傾け、この事業の本質的な意義を考えてみてほしい。

童生徒受入事業を行い、平成27年度からは南相馬市児童受入事業を実施した。この事業は、南相馬市から委託を受けたNPO法人南相馬きぼうのつばさや南相馬市の協力により実施され、3年間で146人の子どもたちを本市に招き、川遊びや野外炊飯、キャンプファイヤーなどを行った。参加した子どもたちは、「家の近くでは、川に飛び込んだり、泳いだりできないからすごく楽しかった」「明日も明後日も川遊びがしたい」など自然のなかで自由に遊べることの嬉しさを、目を輝かせながら語ってくれた。

本 市では、被災地の1日も早い復興を願い、また、子どもたちの心を癒すため、平成24年から気仙沼市見

平 成23年3月11日の東北地方太平洋沖地震による地震動と津波の影響により福島第一原子力発電所で発生した原発事故。大気に放出された放射性物質は、南相馬市民の生活を一変させた。市民は、住み慣れた地を離れ、遠く離れた地で避難生活を送る人もいた。また、震災直後の子どもたちは、自由に外で遊ぶこともできなかった。

感じるチカラ 南相馬市児童受入事業

3年間実施してきた受入事業。その意義や感じたことなどを、この事業に関わった教育委員会の和田教育長やNPO法人南相馬こどものつばさ西代表に話を聞いた。

Voice 1



ももただいせい
百田大誓さん
(八沢小4年)

初めての川遊び感動

震災後、僕は、外で遊ぶ機会が少なくなってしまったので寂しかったです。それでも最近は、ドッジボールとかして外で身体を動かして遊んでいます。ただ、川で遊んだことがなかったので、初めての川遊びは、本当に楽しかったです。また川で泳ぎたいです。

Voice 2



つかべさな
塚部沙菜さん
(石神第二小5年)

友だちを増やしたい

私は、友だちと話しながら花火を楽しめたことが一番印象に残っています。なぜなら、外で縄跳びなどして遊んでも、一人だと寂しいからです。だからもっと知らない人とでも話したり協力したりして、これからも友だちを増やしていきたいです。

Voice 3



たなかようせい
田中耀聖さん
(原町第一小6年)

困っている人を助けたい

一人で行い、困った時には、まわりの人と協力しながら乗り越えていく。そんなことを、自然の里で学びました。私の夢は、理学療法士になることです。今回、学んだことを生かしながら、困っている人を助けられるような人になりたいです。

Voice 4



てらしまゆうか
寺島佑華さん
(原町第一小6年)

感謝の気持ち

南相馬市では体験できない「川遊び」。私は、この川遊びが一番楽しかったです。こんなに川の水が冷たかったり、流れが急だなんて知りませんでした。南相馬市の海や川では、遊ばないので楽しかった。このような機会を作ってくれたみなさんに感謝しています。



プロフィール
桜井勝延 南相馬市長
 昭和31年1月、福島県原町(現南相馬市)で生まれる。岩手大学農学部を卒業後は、地元に戻り稲作や酪農を手がけた。平成15年3月から市議会議員を2期務め、平成22年1月に南相馬市長に当選。現在、市長として2期目の市政運営を任される。

南相馬市長からメッセージ
 南相馬市の子どもたちへの支援に心から感謝しています。今後、市民間の交流を図っていきたくと考えています。ぜひ、南相馬市を代表する『相馬野馬追祭』にお越しください。
 【写真：昨年の相馬野馬追祭(写真提供：南相馬市)】



Interview 4 命あってこそ暮らしが成り立つ

さくらい かつのぶ
桜井勝延 南相馬市長

KATSUNOBU
 SAKURAI

東日本大震災から7年目を迎えました。多くの困難を乗り越え、市民とともに進めてきた復興事業も、その形が目に見えるまでになりました。昨年7月には、市内の避難指示区域のほとんどが解除され、その区域には、2千人を超える市民が戻ってきました。しかし、高齢化率は、26%から34%に上がり、避難によって女性の数が減少しています。子育て世代など、放射線への不安を抱える市民もまだ多いのだと感じています。

南相馬市では、ガラスバッジの貸出しやホールボディカウンターによる内部被ばく検査などを実施しています。また、幼稚園、保育園の無料化や全天候型の子どもの遊び場を整備するなど、子どもを持つ親や子育て世代の不安解消にも努めています。また、NPOとも協働して子

もの心のケアを図る事業なども行っています。震災を経験した子どもたちからは、将来南相馬市の復興に携わりたい、このまちで働きたいなど、街への愛着をもった心強い言葉を耳にします。とても頼もしく感じますし、南相馬市を代表して世界をリードできるような大人になってほしいと願っています。

私は、そんな未来を担う子どもたちを守るため、人の命を大切にすることも原発はいらないと考えています。大津波で636名が亡くなり、原発事故による避難で、503名が関連死の認定を受けています。この数は全国一であり、原発によって殺められたと言っているからこそ、2030年までに市内のすべてのエネルギーを再生可能エネルギーで賄うことができるように市政の舵をきっています。

東日本大震災と原発事故が同時に起きたことは、世界史的な災害であり、天変地異が継続して起きた例えのない大災害です。私は、歴史に挑戦し続けていくことが復興への歩みだと考えています。原発がなくなるまで、大胆に怯えることなく歩み続け歴史を創っていくのみです。

8月14日(月)、南相馬市内の公園で市民盆踊り大会が行われていた。盆踊りは、亡くなられた人を供養する行事。子どもからお年寄りまで、多くの市民や震災で避難されていた人たちが集い、盆踊りの曲にあわせて踊っていた。



Interview 3

「大切なこと」に気付くこと

しがあかり
志賀朱里 さん(原町第一小6年)

AKARI
 SHIGA

「もっと強く生きなきゃいけない」。私は、両親が仕事で忙しかったことから震災後一人でお家にいることが多く怖かった。だから私は、強くなりたいと常に思っていました。私は原発事故によって4年間、古里から離れて福島県伊達市で生活していました。2年前に南相馬市に戻ってきましたが、以前の友達はまだ避難先で生活しているので、一緒に遊ぶ友達も少なく寂しかった。だから友達づくりとして南相馬市児童受入事業に参加しました。この事業を通じて新しい友達もでき充実した時間を過ごすことができました。この事業を支えてくれたみなさんには本当に感謝しています。

私は、将来学校の先生になりたいです。そして子どもたちに「大切なこと」を伝えられる人になりたいです。この大切なこととは「思いやる気持ち」と「感謝する気持ち」です。人は一人では生きられないし、津波で亡くなられた人のことを考えれば私は生かされているのだと気付きました。私は、一人でも多くの方がこの大切なことに気付き、行動に移すことができれば、だれもが幸せだと思えるまちになるのだと思います。それが困難を乗り越えた先にある本当の復興だと私は思います。だから、私は先生になって大切なことを伝えていきたいです。



本質を見抜く 千カラ

東日本大震災や福島第1原発事故から7年目を迎えた今、何を感じ考えているのか。南相馬市長と受入事業に参加した志賀さんに話を聞いた。

原 発はいらない。命あってこそ暮らしが成り立つ。桜井市長が外国人記者に対して話した言葉。東日本大震災や福島第1原発事故を市長として経験し、命の大切さを心で感じてきたからこそ、今の社会の本質を見抜き、経済と叫ばれるこの時代に一石を投じる言葉を発したのだろう。

子 どもは社会の宝と大人はよく口にする。そんな私たち大人は、子どもたちの未来のために、何ができていけるのだろうか。4日間、自

然の里で過ごした南相馬市の子どもたちは、川遊びや野外炊飯を行うなかで、互いに協力し支え合っていた。それは、人の一生には限りがあるということをこれまでの経験から感じているからこそ、人を感じていやる助け合う行動につながっているのだと思う。

3 年間、本市が実施してきたこの事業の本質的な意義は、物事を考えるうえでの根源に気付くこと、「命の大切さ」を真に理解することだ。商業的な価値観が広がる現代社会には、「発展すればすべてよし」といった命の大切さを軽んじる風潮がある。そんな社会の中で東日本大震災や福島第一原発事故は、私たちに何を問いかけたのか。すくなくとも、南相馬市民をはじめ、被災地のみなさんは、その問いの答えが見えているのだと思う。

南 相馬市児童受入事業が終わり1か月。震災や原発事故、そしてこの事業の意義をもう一度見つめ直そう。未来に生きる子どもたちのために――。



市では、稼働から20年を経過するクリーンセンターの老朽化や災害時における廃棄物の処理などの対策を検討してきました。このほど、これら懸案事項の解消に向けた協定が締結され、ごみ処理の新しい方向性が示されましたので報告します。

クリーンセンターの「老朽化対策」「災害時廃棄物対策」

老朽化対策

クリーンセンターは、稼働から20年が経過し、老朽化が進んでいます。また、修繕やトラブル増加への対応が急務となっています。市では、これまで、山梨県が計画する近隣市町村との広域的なごみ処理施設の整備などを検討していますが、この新施設稼働までの過渡期対応、建設予定

地の確保、整備後の運営コストなどの課題が多いのが実情で、市のごみ処理行政の懸案事項でもありました。

協定締結

市では、このような懸案事項の解消に向け検討を重ねた結果、8月23日(水)、オリックス資源循環株式会社と高野産業株式



高野産業株式会社の専用運搬トラック

式会社との間に、「処分不能時における可燃ごみ処理に関する協定」を締結しました。

この協定は、市が処理すべき一般廃棄物に関して、クリーンセンターの修繕工事、その他トラブル、休止などによって使用できない場合や自然災害発生時に処理能力を超える事態が発生した場合などの時に、高野産業株式会社の運搬技術を利用しながら、オリックス資源循環株式会社の施設でごみ処理を行う内容の協定です。

なお、オリックス資源循環株式会社では、万が一自社で処理がしきれない場合を想定し、大規模施設と連携して処理を継続する体制も構築しており、安心で継続的なごみ処理が期待できます。



オリックス資源循環株式会社寄居工場の外観



施設内は高温反応炉などの機械設備が並ぶ

処分不能時における可燃ごみ処理に関する協定締結調印式

8月23日(水)、市役所で、処分不能時における可燃ごみ処理に関する協定締結調印式が行われました。



オリックス資源循環株式会社
はないしげかず
花井薫一 代表取締役

本協定を通じ、上野原市の抱えるごみ処理課題の解消に貢献し、市民生活に不可欠な社会インフラである廃棄物処理の継続に寄与してまいります。



高野産業株式会社
たかのみのる
高野実 代表取締役

ごみ処理不能事態発生時には、敏速に全力でごみの収集、運搬にあたり、災害発生時には、ごみの選別、破碎の前処理業務にも貢献させていただきます。



えぐちひでお
上野原市長 江口英雄

昨年発生した熊本地震でもそうですが、大規模災害時は、ごみ処理が間に合わず復旧・復興の妨げにもなります。今回の協定では災害時の廃棄物対策にも期待しています。



廃棄物高度処理施設とPFI事業

オリックス資源循環株式会社寄居工場は、埼玉県内で第一号となるPFI事業として運営されている廃棄物高度処理施設です。焼却灰が一切発生しない最先端の熱分解ガス化改質方式を採用しており、廃棄物を約2000℃で溶解して、完全に再資源化できることが特徴です。処理能力は、民間施設として国内最大級の日量450トンです。工場や事業所から排出される産業廃棄物だけでなく、埼玉県内や近隣市町村からも家庭ごみなどを受け入れています。

※PFI事業とは、民間の資金、経営能力、技術力を活用して、公共施設の建設、維持管理、運営を行う公共事業を実施するための手法

安定したごみ処理行政

市では、上野原市ごみ対策推進協議会を9月中旬に立ち上げ、ごみ袋の有料化やごみの減量にむけて検討していきます。いつまでも安定したごみ処理が行える行政の推進を目指していきます。

●問い合わせ 生活環境課クリーンセンター担当 (☎6215353)

再生可能エネルギー固定価格買取制度改正

問い合わせ 生活環境課生活環境担当 (☎ 62-3114)

再生可能エネルギー固定価格買取制度の改正!! 事業計画書の提出が必要です!!

平成29年4月1日から、再生可能エネルギー固定価格買取制度(FIT)の改正により、平成29年3月31日までに認定を受けていた太陽光発電事業者(既に売電開始済みの人も含む)は、10kW以上、10kW未満に関わらず、事業計画書を9月30日(土)までに提出する必要があります。

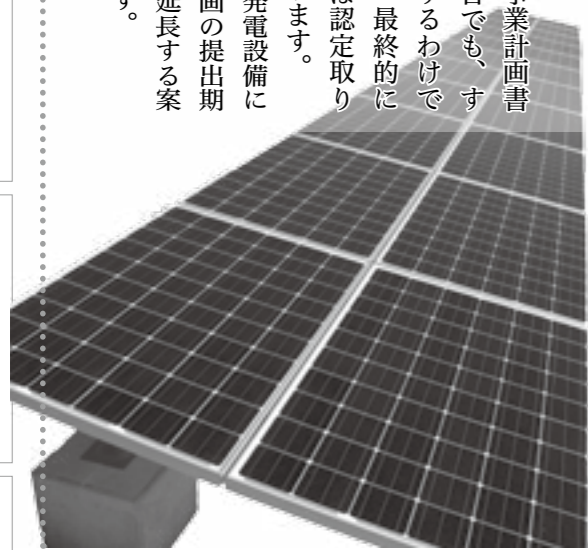
※例外として、①認定日が平成28年7月1日〜平成29年3月31日の場合、②電源接続案件募集プロセスなどに参加している場合の提出期限は、電力会社と接続契約を締結した日から6か月以内となります。

※提出期限までに事業計画書の提出がない場合でも、すぐに認定が失効するわけではありませんが、最終的に提出されなければ認定取り消しの対象となります。

※10kW未満の太陽光発電設備については、事業計画の提出期限を12月31日まで延長する案を政府で検討中です。

▶▶▶詳しくは
資源エネルギー庁のホームページ
「なっとく!再生可能エネルギー」をご覧ください。

【問い合わせ】
再生可能エネルギー新制度移行手続き代行センター
☎ 0570-057-333
受付時間:午前9時~午後6時(土・日・祝日を除く)



重度心身障害者医療費助成事業

問い合わせ 福祉課障害福祉担当 (☎ 62-3115)

更新手続きの確認を!! 重度心身障害者の医療費を助成しています!!

市では、市内に住んでいる重度の心身障害を持つ人の医療費の一部(入院時食事療養費標準負担額を除く)を助成しています。

- ▼対象者
- 市に住民登録していて、次のいずれかに該当する人
 - 身体障害者手帳1級〜3級の所持者
 - 療育手帳Aの所持者
 - 精神障害者保健福祉手帳1級・2級の所持者
 - 国民年金法で規定する1級・2級と同等程度(特別児童扶養手当1級・2級の対象児童を含む)の障害のある人

▼更新手続き

受給資格者証の有効期限は、毎年11月1日から翌年10月31日までです。

今年度は全受給者が更新手続きを行う必要があります(3年に1度)。

9月下旬に申請書などを送

今年度は全受給者が
更新手続きをする
必要があります!!



付しますので、更新手続きを行ってください。

※更新後に所得などを確認し、非該当となる場合があります。あらかじめご了承ください。

※詳しくは、お問い合わせください。

平成29年度上野原市各地区敬老会

問い合わせ 長寿健康課地域包括支援担当 (☎ 62-3128)

敬老会に参加しよう

市では、地区社会福祉協議会の協力により、75歳以上のみなさんを対象に、各地区で次のとおり敬老会を開催します。

地区名	開催日時	場所
大目地区	10月1日(日) 午前10時~	旧大目小学校体育館
甲東地区	9月24日(日) 午前10時~	旧平和中学校体育館
巖地区 沢松	9月24日(日) 午前9時~	旧沢松小学校体育館
巖地区 四方津・川合	9月24日(日) 午前10時~	上野原西小学校体育館
巖地区 コモアしおつ	9月10日(日) 午前11時~	上野原西小学校体育館
大鶴地区	10月7日(土) 午前10時~	旧大鶴小学校体育館

地区名	開催日	場所
島田地区	10月1日(日) 午前11時~	島田小学校体育館
上野原地区	10月14日(土) 午前11時~	上野原小学校体育館
柵原地区	9月10日(日) 午前10時30分~	旧柵原小学校体育館
西原地区	10月1日(日) 午前11時~	西原小学校体育館
秋山地区	9月17日(日) 午前10時~	秋山老人福祉センター

敬老祝金等支給事業

問い合わせ 長寿健康課地域包括支援担当 (☎ 62-3128)

敬老祝金等を支給します



- 市では、88歳と101歳以上の方に敬老祝金等を支給します。また、県からは百歳長寿者へ褒状などが贈呈されます。
- 《市敬老祝金》
- 支給対象者 基準日9月15日に市内に住所を有し、1年以上上居住している人
 - 支給額
 - 《88歳》5000円
 - 《101歳以上》2万円
 - 支給時期 9月中
 - 《県百歳長寿褒状贈呈》
- 当該年度の3月31日において満100歳の人で、9月15日現在、県内に在住する人
- 贈呈品 《100歳》褒状、額縁
- 問い合わせ 長寿健康課地域包括支援担当 (☎ 62-3128)

オコシタイ通信

上野原市
地域おこし協力隊

vol. 9

たまじまる大活躍

反射材大使任命

今年度、山梨県反射材大使にたまじまるが任命されました。

現在、『交通事故を未然に防ぐため夜道を歩く時は必ず反射材を身につけよう』を、テーマに活動しています。



▲反射材大使に任命され、気持ちを引き締めるたまじまる

LINE スタンプ発売中

この度、制作に取り組んでいたLINE スタンプがついに完成し、販売がスタートしました。

スタンプは、酒まんじゅうやせいだのたまじ、秋山温泉、八重山などをモチーフにしたものと日常生活で使えるようなスタンプになっています。QRコードまたは、LINE スタンプショップで販売中です。ぜひ利用してください。



LINE スタンプは左のQRコードからチェックしてください。

出張たまじまる

みなさんが実施するイベントに『たまじまる』の参加を希望される人は、経済課に申し込みください。



【申込み・問い合わせ】
経済課農村地域づくり担当
(☎ 62-3119)

みなさんこんにちは。地域おこし協力隊です。
上野原市の郷土料理『せいだのたまじ』。このせいだのたまじを使ったかわいいキャラクター『たまじまる』をみなさんはもうご存知ですよ。市内外のイベントに参加して、せいだのたまじを普及させたり、上野原市のPR活動に取り組んでいます。今回は、そんな素敵なたまじまるの活動を紹介します。

もしもしこちら市長室!!

～市民と市長のホットライン～



市長のひと言 vol.86

原発事故から思う

私は、昨年の11月に全国市長会が実施する福島第1原子力発電所の視察に参加しました。その際、今回の特集でもお話を伺った南相馬市の桜井市長から、震災や原発事故による被害の現状を聞きました。周辺地域の除染作業などは、時間もコストも莫大にかかるうえに、未だ古里で生活することができない市民も多くいるとの説明でした。このような状況を聞くと、原子力発電に対するエネルギー政策について、国民一人ひとりが他人事ではなく自分事として考えなければならぬ問題だと感じました。これまでの社会は、『人間の本質的な欲』が『発展』と

いう言葉をつくりあげ、現在の社会構造を生んできたのだと思います。それは、多くの資源を使い、足りなければ原子力に頼るものでした。私は、これらの社会構造を否定するわけではありませんが、『発展すればよし』ではなく『命の大切さ』を理解しながら、持続的な社会を構築していくことが、これから私たちが歩むべき道なのではないかと感じています。

私は、震災や原発事故、そして視察や今回実施した南相馬市児童受入事業を通じて、『真の豊かさとはなにか』をあらためて考えるきっかけになりました。市民のみなさんは、どう感じましたでしょうか。もう一度、考えてみましょう。

ある日の市長

甲斐風林火山 冬季国体開始式歓迎アトラクション出演決定!!

6月28日(水)、市長室で、山梨県教育庁国体推進室の三井勉室長から甲斐風林火山代表の白井さんに第73回国民体育大会冬季大会スケート協議会開始式歓迎アトラクション出演依頼書が渡されました。開始式では、全国の選手たちが一堂に集まる日に、選手たちの激励、歓迎と県のPRを目的に甲斐風林火山が演舞を行います。



▲三井室長から出演依頼書を受け取る白井代表と江口市長

市民のみなさんと市長とのふれ愛トーク 【申込み・問い合わせ 企画課政策推進担当 ☎ 62-3118】

▶日時・場所 9月28日(木) 午前9時～11時、市役所市長室
▶対象・方法 1人または1組(5人程度)を対象に、1日3組を受け付け、対話時間はおおむね20分間です。

オコシタイ通信 2か月に1回程度、上野原市地域おこし協力隊の活動などを報告します。
協力隊の活動情報は、Facebook や観光WEBサイト「ふらっと上野原」でご確認ください。

上野原市地域おこし協力隊 Facebook
⇒日々発見したものを毎日更新中!!
【https://www.facebook.com/uenohara.jp】

観光サイト『ふらっと上野原』
⇒上野原市の観光情報を発信中!!
【https://uenohara.jp】

ふらっと上野原
検索

うえのはら健康家族

●問い合わせ 長寿健康課保健担当 (☎ 62-4134)

今月の健康レシピ No. 142

9月は食生活改善普及運動月間です

『ミルクカレーピラフ』

日本人の平均食塩摂取量は、現状 10g ですが、目標値の 8g まであと 2g 減少が必要です。また、20～30 歳代における牛乳・乳製品は、3 人に 1 人が摂取していない状況です。そこで、乳製品を取りつつ、香辛料を使い減塩を意識したメニューを紹介します。

■材料 4 人分 (1 人分のエネルギー 367Kcal 食塩相当量 0.8g)

材料	分量	材料	分量
白米	2 合	カレー粉	小さじ 2
水	160cc	牛乳	200cc
ウインナー	4 本	コンソメ(顆粒)	小さじ 2
玉ねぎ	半分	乾燥パセリ	適宜
ミックスベジタブル	100g		



■作り方

- ① 白米をとぎ、水に浸しておく。
- ② ウインナーは輪切り、玉ねぎはみじん切りする。
- ③ 炊飯器に、①と②、ミックスベジタブル、カレー粉、コンソメ、牛乳を加えて炊く
- ④ 炊き上がったら、器に盛りつけ乾燥パセリをふる。

●問い合わせ 長寿健康課保健担当 (☎ 62-4134)

保健師からのメッセージ No. 57

今月のテーマ

プラス 10 (テン) は覚えましたか?

「保健師からのメッセージ」コーナーでもたびたび紹介している「プラス 10 (テン)」。みなさん覚えていますか。特別な運動を始めることは、なかなか難しいですが、今よりも一日 10 分多く歩くことを実行する。それが「プラス 10 (テン)」です。

10 分歩くと約 1000 歩になります。消費カロリーは、約 30 カロリーです。飴が 1 個約 15 キロカロリーなので、飴 2 個分は消費できます。その程度かと思う人もいるかと思いますが、この毎日の積み

重ねがとても大事になります。例えば 1 か月続けると 900 キロカロリー消費できます。ケーキが 1 個約 300～350 キロカロリーとすると 3 個くらいは消費できる計算です。今よりも少し動く習慣をつけて毎日継続することが大事です。

「プラス 10 (テン)」ぜひ心がけましょう。

●問い合わせ 長寿健康課保健担当 (☎ 62-4134)

保健だより

●問い合わせ 長寿健康課保健担当 (☎ 62-4134)

★乳幼児健診

	実施日	該当児
4 か月児	10月2日(月)	H29年5月1日～5月31日生
9 か月児	10月2日(月)	H28年12月1日～12月31日生
1歳6か月児	9月5日(火)	H28年1月1日～2月29日生
2 歳児	9月25日(月)	H27年5月16日～6月30日生
3 歳児	9月20日(水)	H26年6月11日～7月15日生
5 歳児	9月27日(水)	H24年9月1日～9月30日生

詳細については、該当児にお知らせを郵送します

★集団検診 (午前実施)

- ◎日 時 10月21日(土)、22日(日)、24日(火)
25日(水)、26日(木)、11月18日(土)、
19日(日)
- ◎検診項目 特定(基本)健診・胃がん・肝がん・
大腸がん・肺がん・前立腺がん・乳
がん検診
- ◎場 所 保健センター

★婦人科検診 (午後実施)

- ◎日 時 10月3日(火)、4日(水)、5日(木)、
23日(月)、11月10日(金)
- ◎検診項目 乳がん、子宮頸がん、大腸がん検診
- ◎会 場 保健センター
- ※10月23日(月)は、島田コミュニティセンターとなります。

★子宮頸がん検診 (午後実施)

- ◎日 時 10月24日(火)、26日(木)、11月15日(水)
- ◎検診項目 子宮頸がん検診
- ◎会 場 保健センター
- ◎申 込 み 保健担当へ電話で申し込みください。
- ※市の施設検診との重複受診はできません。
※対象年齢は、20歳以上となります。ただし前立腺がん検診は、50歳
以上が対象となります。
※年間日程や自己負担金などの詳細は、広報うえのはら4月号『保健事業の
ご案内』をご覧ください。保健センターまでお問い合わせください。

伝言板

脳ドックを受診しよう (上野原市立病院)

■基本検査項目

- ①診察(問診)、身長、体重、血圧測定
- ②血液、生化学的検査
- ③頭頸部 MRI・MRA

■検診料金 32,400 円(税込)

※オプション：頸動脈超音波検査 5,940 円(税込)

■実施日時 9月30日(土)午後、10月28日(土)午後

■定 員 4 名

※詳しくは、お問い合わせください。

●問い合わせ

上野原市立病院 (☎ 62-5121)

9月は 『健康増進普及月間』です

厚生労働省では、健康づくり促進のため、9月を「健康増進普及月間」と定め、普及啓発を行っています。統一スローガンは、「1に運動、2に食事、しっかり禁煙、最後にクスリ～健康寿命の延伸～」です。

健康寿命とは、健康で日常生活が制限されることなく生活できる期間と定義されています。

保健師からのメッセージでお伝えしている「プラス 10 (テン)」を実行し、健康寿命を伸ばしましょう。

●問い合わせ

長寿健康課保健担当 (☎ 62-4134)



くらしのガイド

第3回『わかば感謝祭』に今年も出かけよう☆

- 日時 9月23日(土・祝) 午前10時～午後2時
- 場所 市役所センタープラザ(雨天時のみみじホール)
- 内容 模擬店、舞台発表、フリーマーケット
- ※フリーマーケットに出店を希望される人は、ご連絡ください。
- 主催 特定非営利法人わかば
- 後援 上野原市、上野原市社会福祉協議会
- 問い合わせ 上野原福祉作業所(☎63-4725)

第22回富士ふれあいの村まつりを開催します

- 日時 9月9日(土) 午前10時～午後2時40分

上野原市郷土資料展開催!! 郷土資料約90点展示

- 上野原市郷土資料展
- ▶日時 9月22日(金)～24日(日) 午前9時～午後5時
- ▶場所 もみじホール1階会議室1
- ▶内容 みなさんから寄せられた民具や古文書、写真など、市の歴史文化を伝える郷土資料約90点を展示します。
- ▶費用 無料
- ※申し込みは不要です。気軽にお立ち寄りください。



▲江戸時代の上野原村検地帳
▶西原地区に伝わる『門男』

【問い合わせ】社会教育課社会教育担当(☎62-3409)

- 場所 富士ふれあいの村運動場(富士河口湖町船津6663-1)
- 内容 支援学校、福祉施設(作業所)に通うみなさんやゲストなどによる演技、演奏、作品展示・販売、模擬店、フリーマーケット、体験工房、お楽しみ抽選会
- 問い合わせ 富士ふれあいの村まつり運営委員会(☎0555-7215533)

おいしくごはんをたべるための「お口の健康教室」参加者募集

- 対象者 市内に住所がある65歳以上の人
- 日時 10月12日(木)、19日(木)、11月9日(木)、16日(木)
- 申込み・問い合わせ 長寿健康課地域包括支援担当(☎62-3128)



おいしくご飯をたべるために、この教室に参加して、口腔内検査や口腔体操をしてみてください。

- 日時 9月29日(金) ※定員になり次第締め切ります。
- 申込み・問い合わせ 長寿健康課地域包括支援担当(☎62-3128)

応急手当講習会(上級救命講習)を開催します

- 日時 9月23日(土・祝)、24日(日)(2日間)、午前8時30分～午後0時30分
- 場所 消防本部2階会議室
- 内容 上級救命講習(成人および小児、乳児の心肺蘇生法、AED使用法、異物除去法、止血法)
- 定員 20名
- 受講資格 市内居住者または市内在勤・在学の中学生

- 申込み・問い合わせ 消防総務課警防救急担当(☎62-4112)
- 費用 無料
- 申し込み 9月15日(金)
- 費用 無料
- 申し込み 9月15日(金)
- 費用 無料

認知症カフェ「はるカフェ」にお越しください

- 対象者 認知症の人とその家族、地域住民の人
- ※どなたでも自由に参加できます。
- 日時 9月24日(日) 午前11時～午後2時
- ※都合のよい時間にお越しください。
- 場所 にんじんホーム・上野原(上野原522)
- 内容 カフェとランチ、グループトーク(気軽なおしゃべり)、専門家による認知症ケア、介護などの相談

知症ケア、介護などの相談

- 費用 無料
- ※昼食は希望制で自己負担となります。
- ※お茶とお菓子を用意しています。
- ※この事業は、市の委託事業です。
- 問い合わせ にんじんホーム・上野原(☎62-6222)

『県下一斉無料法律相談』を開催します

- 1時～4時
- 場所 市役所1階会議室B(福祉課隣)
- 内容 離婚、相談、土地などの賃貸借、交通事故、損害賠償、サラ金など消費者問題など
- ※相談内容に関する書類などをご持参ください。
- 定員 6名(相談時間一人30分)
- 申込方法 事前に電話で申し込みください(予約制)
- 受付期間 9月25日(月)～10月11日(水) 午前9時～午後5時

『一日合同行政相談所』を開催します

- 日時 9月8日(金) 午前10時30分～午後3時
- 場所 大月市民会館4階視聴覚室
- 内容 登記、年金、福祉、道路など、私たちの身近な問題について、弁護士などが相談に対応します。
- 費用 無料
- ※予約は不要です。秘密は固く守られます。
- 問い合わせ 生活環境課生活環境担当(☎62-3114)、総務省山梨行政評価事務所(☎0570-090110)



悩まずにまずは相談してください

- 30分～午後7時
- ※土・日曜日は、午前10時～午後5時
- 相談内容 高齢者や障害者に対する暴行、虐待などの人権に関する相談を電話で受け付けます。
- 費用 無料
- 電話相談窓口 ☎0570-0031110
- ※強化週間以外の平日は、午前8時30分～午後5時15分まで電話相談を受け付けています。
- 秘密は固く守られます。
- 問い合わせ 甲府地方務局人権擁護課(☎055-25217239)

一緒に考えませんか? 障がい者のみなさんが『働くこと、働き続けること』

- ▼日時 9月27日(水) 午後1時30分～午後3時 ※受付時間午後1時～1時30分
- ▼場所 もみじホール2階会議室
- ▼参加料 無料
- ※申し込みは不要です。当日、受付時間内にお越しください。
- ▼主催 東部圏域自立支援協議会日中活動部会



【問い合わせ】福祉課障害福祉担当(☎62-3115)

- 期間 9月4日(月)～10日(日) 7日間、午前8時
- 全国一斉「高齢者・障害者の人権あんしん相談」強化週間
- 問い合わせ 生活環境課生活環境担当(☎62-3114)、総務省山梨行政評価事務所(☎0570-090110)

- 期間 9月4日(月)～10日(日) 7日間、午前8時
- 全国一斉「高齢者・障害者の人権あんしん相談」強化週間
- 問い合わせ 生活環境課生活環境担当(☎62-3114)、総務省山梨行政評価事務所(☎0570-090110)

市社会福祉協議会職員採用試験を実施します

- 職種 相談員
- 業務内容 基幹相談支援センター業務、障がい者（児）相談支援業務、特定障がい児相談支援業務
- 募集人員 若干名
- 試験日時 11月11日（土）
- 試験会場 勤労青少年ホーム2階会議室
- 申込期間 9月19日（火）～10月13日（金）午前9時～午後5時（土・日除く）
- 募集要項、試験申込書は、市社会福祉協議会で9月4日（月）から配布します。
- ※募集要項は、ホームページからもご覧いただけます。
- ※受験資格などの詳細は、お問い合わせください。
- 問い合わせ 市社会福祉協議会（☎63-0002）

市民 測定内容 握力・上体起こし・長座体前屈など

- 場所 もみじホール
- 参加費 無料
- 持ち物 運動靴、タオル、飲み物など
- ※参加者には、体力診断表をお渡しします。
- ※当日は、運動のできる服装でお越しください。
- 申込期限 9月19日（火）
- 申込み・問い合わせ 社会教育課社会教育担当（☎62-3409）

市営住宅（浅間第2団地）入居希望者を追加募集！

- 対象住宅 浅間第2団地（秋山8672-2）、鉄筋コンクリート造・3階建・76㎡
- 募集期間 9月1日（金）～29日（金）（土・日・祝日除く）
- 応募資格 次の項目すべて



市営住宅（浅間第2団地）

新たな門出を迎えるみなさん!! 成人式に参加しよう!!

▶日時 平成30年1月7日（日）
午前11時受付開始、午前11時30分式典開始

▶会場 もみじホール

▶対象者 平成9年4月2日～平成10年4月1日までに生まれた人

※招待状は送付しません。該当する人は、直接会場にお越しください。
※市内に住所がなくても本市出身者であれば気軽にご参加ください。

【問い合わせ】
社会教育課社会教育担当（☎62-3409）

- ・現に住宅に困窮している人
- ・市内に住所または勤務先がある人
- ・同居する親族などがある方
- ・収入月額15万8千円以下である人
- ※世帯の合計所得から公営住宅法で定める額を控除し、12か月で割った金額
- ・本人および同居する親族などが暴力団員でない人
- ※高齢者や障害者などの人
- は、入居基準および収入基準が緩和されます。
- 申込方法 電話で申し込みください。必要書類などを送付します。
- 申込み・問い合わせ 都市計画課計画担当（☎62-13191）

『上野原市民ゴルフ大会』参加者募集

- 開催日 10月3日（火）
- 場所 メイプルポイントゴルフクラブ
- 申込資格 市内に住民登録、または勤務先のある人、ゴルフ場の規約・マナーを遵守できる人
- 申込方法 教育委員会および実行委員宅に用意してある「ゴルフ大会参加申込書」に必要事項を記入のうえ、

社会教育担当へ申し込みください。

- 定員 40組160名
- ※定員になり次第締切ります。
- 申込期限 9月20日（水）
- 参加費 3千円（賞品代、パーティー代、チャリティー募金（500円）含む）
- プレー代 1万3500円（キャディー、食事、消費税込み）
- ※70歳以上の人は、ゴルフ場利用税が非課税となります（年齢証明必要）。

《実行委員》（敬称略）

- 大目地区 浅井功知
- 甲東地区 志村義夫
- 四方津地区 木村信男
- コモアしおつ地区 大枝靖
- 八ツ沢地区 小林輝男
- 松留地区 大神田治雄
- 大鶴地区 加藤哲夫
- 島田地区 河内剛、佐藤和弘
- 上野原地区 塚本浩、富田裕久、横瀬明、飯田隆男
- 桐原地区 長田章、清水秀彦

『心身障害児巡回療育相談』を利用してください

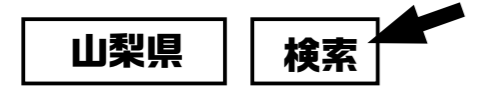
- 西原地区 奈良長光
- 秋山地区 野崎栄作、関戸俊仁
- 日時 10月11日（水）午後1時30分～午後4時
- 場所 もみじホール3階
- 内容 発育や発達の遅れなどの心配があるお子さんに対する家庭療育のしかた、施設入所、職業適正などの相談
- 申込方法 事前に電話で申し込みください（完全予約制）。
- ※子どもの心身に障害がある場合、できるだけ早期に専門家による適切な治療や指導を受けることが大切です。
- ※気軽に相談してください。
- 申込み・問い合わせ 都留児童相談所（☎45-7837）

胃を大切に!! ヘリコバクター・ピロリ菌除菌治療費助成事業

県では、ヘリコバクター・ピロリ菌の医療保険適用による除菌治療を実施した県民に対して治療費の自己負担額の一部を助成します。

- ▶助成対象者 平成28年4月1日以降に保険適用ピロリ菌除菌治療を開始した方で治療開始の初日（除菌薬を受け取った日）における年齢が20歳以上75歳未満
- ▶助成額 薬剤費として負担した費用（上限1,000円）、除菌治療後の判定検査費（上限1,000円）
- ▶申請方法 保険適用ピロリ除菌治療の終了後、平成33年3月31日までに申請書を知事に提出。

※申請書は長寿健康課保健担当にもあります。
※詳しくは、県のホームページをご覧ください。



【問い合わせ】
県健康増進課がん対策推進担当（☎055-223-1497）

あなたの身近な不動産パートナー

有限会社ベストホーム

土地・建物の購入・売却・相続などの相談、新築・リフォーム、お任せください。

山梨県上野原市上野原1001 協栄ビル1階

0554-63-6101

町の便利なお店

金物・土木建築資材・塗料
水道部品・物置・カーポート
家庭用品・ガラス修理

よしず・すだれ・麦わら帽子・散水ホース・バーベキュー用アミ・木炭

国道沿いに大きな駐車場あり
お買い物は、お車でどうぞ!!

株式会社 富田

〒409-0112 上野原市上野原 3261
☎0554-63-1331（代） 日曜・祝日定休日 国道20号 つるしん前

外壁塗装 介護工事 新築 増改築 外構工事

四方津石井工務店

お気軽にご相談下さい。

上野原市コモアしおつ4-20-1
TEL 0554(23)7076 0554(63)2065

1級大工技能士 2級建築士

志村工務店

「地元、上野原で約50年、棟梁魂と匠の技に、日本最大のビルダー集団・ジャープネットの力を結集してお客様の夢を形にします」

新築・リフォームのご相談
お気軽にお電話ください。

山梨県上野原市上野原 4078-5
☎0554-56-8537 (FAX)0554-56-8057 担当：志村剛 JAHBnet

「山梨県東部地域創業スクール」
受講生を募集します

●対象者 創業、起業に興味のある人
●日時 10月14日(土) 午後1時30分～4時30分
●場所 都留信用組合本店
●参加料 無料
●定員 40名

●対象者 創業、起業に興味のある人
●日時 10月21日(土)、28日(土)、11月4日(土)、11日(土)、18日(土) 全5回、午前10時～午後5時
●場所 都留信用組合本店
●参加料 10800円
●定員 30名

●講師 創業支援に精通した専門家(中小企業診断士、税理士)
※申し込みは、創業セミナー、



創業スクールともに、電話で申し込みください。
●申込み・問い合わせ 都留信用組合地域支援部荒井(☎0555-2414815)
●対象者 結婚、出産、育児、介護などで職場を離れていて看護職の免許を持っている人など

●日時 9月27日(水) 午前10時～午後2時
●場所 いきいきプラザ都留3階(都留市下谷2516-1)
※最近、院内保育室の整備や育児短時間制度、夜勤免除などの就業時間の工夫により看護職員が働きやすい環境を整える医療機関が増えています。また、最新の看護業務に不安を抱いている人への院内実務研修や職場復帰のための相談体制が整備されています。

●日時 9月18日(月・祝) 午前9時～午後2時
●場所 勤労青少年ホーム1階調理室
●参加料 500円
●定員 15名

●持ち物 エプロン、三角巾、筆記用具
●申込方法 電話で申し込みください。
●申込期限 9月11日(月) 問い合わせ 経済課商工観光担当(☎62-3119)

●日時 9月11日(月) 午前9時～午後4時
●場所 消防試験研究センター山梨県支部(甲府市塩部2-1-15湯村自動車学校敷地内)
※受付時間は、平日の午前9時～午後5時となります。



加してください。
※申し込みは不要です。直接会場にお越しください。
※個人情報厳守します。
●問い合わせ 富士・東部保健福祉事務所健康支援課(☎0555-2419034)
「上野原名物「酒まんじゅう」を作ってみよう！」
《酒まんじゅう教室》

「平成29年度危険物取扱者試験」を実施します
●試験職種 甲種、乙種(全類)、丙種
●試験日・会場 10月22日(日)・山梨英和大学(甲府市横根町888)、10月28日(土)・都留文科大学(都留市田原3-8-1)
●申請場所 消防試験研究センター山梨県支部(甲府市塩部2-1-15湯村自動車学校敷地内)
※電子申請については、消防試験研究センターホームページを検索してください。
※願書は、市消防本部に用意してあります。
※詳しくは、問い合わせください。

山梨県がん患者サポートセンター
『出張がん相談』を利用しよう

▼日時 10月4日(水) 午後1時30分～午後4時
▼場所 富士吉田市民会館3階会議室1・2(富士吉田市緑が丘2-5-23)
▼対象者 がん患者とその家族、関係者
※保健師、がんを経験した仲間(ピアサポーター)が、がんの悩みや心配ごとなどの相談をお受けします。
※当日参加も可能ですが、事前の予約をお願いします。

一人でも悩まず相談してください。

【申込み・問い合わせ】
県がん患者サポートセンター(☎055-227-8740)

▶▶▶上野原市立病院 9月の外来診療 ●問い合わせ 市立病院(☎62-5121)

診療時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
内 科	藤来	荒井	余語	村田	賀来	内科医師
一 般 外 科	賀来 三澤・余語	岡本・村田 石井	藤来・花輪	小木 濱・藤来	岡本・村田 進藤	竹内 <small>第3土曜日・予約</small>
神 経 内 科	栗田			瀧山		
小 児 科	牧野	牧野	牧野	玉井	牧野	
小 心 臓 外 科			喜瀬 <small>第4水曜日・要予約</small>			
脳神経外科	長坂	長坂	長坂	山梨大非常勤医師	長坂	
外 科	松野	遠藤	富岡	松野	富岡	
肛 門 外 科	富岡					
胸 部 外 科				平良 <small>予約のみ</small>		
皮 膚 科	大沼		三井		木下 <small>第2・3・4・5金曜日</small>	
整 形 外 科	森田・樋貝	須田	戸島・樋貝	田・樋貝	樋貝	
眼 科	大野	徳田		大野 <small>予約のみ</small>	大野 <small>(受付8:00～10:00)</small>	
耳 鼻 咽 喉 科			杉谷			
泌 尿 器 科			松岡		芦澤	
婦 人 科				村石		小松 <small>診療日9/9・30のみ</small>
西原診療所				本田 <small>第1・3木曜日のみ</small>		山梨大非常勤医師 <small>(受付8:00～10:30)</small>
秋山診療所	岡本		古屋		上條	
	岡本					

※この案内は、8月20日現在のものです。都合により変更となる場合があります。
※小児科の夜間・休日診療などは、「富士・東部小児初期救急医療センター」で行っています。
当日の小児科医は、他病院の小児科医とともに、センターでの診療にあたっています。
富士東部小児初期救急医療センター(☎0555-24-9977)
※診療の受付時間は、午前8時～11時30分、午後2時～4時までです。
※電話での問い合わせ受付時間は、午前8時30分～午後5時までです。

▶▶▶9月の各種相談日・申請期限・窓口業務

区 分	日 時	場 所
児童巡回相談	14日(木) (要予約☎62-3115) 午前10:00～午後3:00	もみじホール 3階和室
児童家庭相談室	毎週月曜日～金曜日(祝日除く) 午前8:30～午後5:00	福祉課子育て支援担当 ☎62-1199
母子父子家庭相談	毎週月曜日～金曜日(祝日除く) 午前8:30～午後5:00	福祉課子育て支援担当 ☎62-3115
ふれあい福祉相談	毎週木曜日 午前10:00～午後3:00	市勤労青少年ホーム 相談室☎63-3444
人 権 相 談	8日(金)、22日(金) 午前10:00～正午	市役所1階会議室B (福祉課横)
行 政 相 談	19日(火) 午前10:00～正午	市役所1階会議室A
障害者出張相談	21日(木) (要予約☎62-3115) 午後1:30～4:00	市役所1階会議室B (福祉課横)
区 分	日 時	場 所
結 婚 相 談 所	毎週日曜日 午前10:00～午後3:00	織物工業協同組合 ☎63-3800
学校カウンセラー 教育相談	毎週月曜日～金曜日 (祝日除く) 午前8:30～午後4:00	もみじホール相談室 ☎63-5700 ☎0120-28-7830
消費生活相談	毎週月・木曜日(祝日除く) 午前9:00～午後4:00	生活環境課生活環境担当 ☎62-3114
農地売買・賃借 申請書提出	9月の申請書提出期限 11日(月)	上野原市農業委員会(経済課内) ☎62-3119
市 税 収 納・ 納 税 相 談	24日(日) 午前9:00～正午	税務課カウンター ☎62-3113
市民課日曜窓口	24日(日) 午前9:00～正午	市民課カウンター ☎62-3112

すくすく育て うえのはらっ子

～我が家の主役～



秋山地区 小林 希依ちゃん(5歳8か月)
けんしん 謙心くん(2歳10か月)
讓さん、英絵さんの長女・長男
“元氣と笑顔をありがとう♡楽しく仲良くたくましく育てね”



秋山地区 小侯 晴仁くん(6歳0か月)
はると 英俊さん、靖子さんの長男
“素敵なお友達を沢山つくってね!!”

《募集》

わが家の主役に掲載する写真を募集しています。掲載を希望される方は、企画課までお問い合わせください。企画課政策推進担当 (☎62-3118)

～子育てサポート情報～

●子育て支援センターを利用しよう!!

市では、上野原こども園内と巖こども園内の2か所に、子育て支援センターを設置しています。子育て支援センターは、親子で自由に遊ぶことができ、親同士の交流や情報交換、悩みの相談ができる場所です。毎月、誕生会、お話広場、子育て講座など、多数行事を行っています。ぜひ、ご利用ください。

- 【対象者】**
市内に住所がある人、市内に勤務されている人、市内の学校に在学している人で次の項目に該当する人
- ・就学前のお子さんと保護者
 - ・妊婦さん
 - ・子育て支援活動をされている人
- 【利用期間】**
毎週月曜日～金曜日(祝日・年末年始を除く)
- 【利用時間】**
午前9時～午後0時30分、午後2時30分～4時
※相談受付：午前8時30分～午後4時30分
※ランチルーム：午前11時30分～午後0時30分

- 【場所】**
上野原こども園内、巖こども園内
※わからないことがありましたら、気軽にお問い合わせください。
- 問い合わせ**
上野原子育て支援センター (☎56-8351)、
巖子育て支援センター (☎62-6201)



～子育て応援掲示板～

●『たまひよママのお茶会』桐原地区

【日 時】 9月25日(月) 午前10時～正午
【場 所】 桐原保育所
【内 容】 砂場や滑り台がある広いお庭で、地域のお年寄りやお姉さんたちと親子一緒に遊べます。
【問い合わせ】 代表者 互井 (☎090-3212-2262)

●『島田子育て&地域カフェ』

【日 時】 9月7日(木) 午前10時～正午
【場 所】 島田コミュニティセンター
※息抜きやお友達づくりにどうぞ。
※別室には、100円で利用できる地域のみなさんのためのお茶のみコーナーがあります。
【問い合わせ】 代表者 佐藤 (☎63-1519)

●子育てサロン『あそびにおいでよ!』

【日 時】 9月14日(木)、28日(木)
午前10時～正午
【場 所】 新一区集会所
【内 容】 親子が安心して遊べ、ママ友が見つかる。子育ての悩みなどを気軽に相談できる第2の実家のような場所です。
【問い合わせ】 代表者 作田 (☎090-9134-7827)

●『たまひよDX』

【日 時】 9月30日(土)、午前10時～正午
【場 所】 コモア内ウエスト4丁目集会所
【内 容】 『たまひよDX』は、成長・発達がゆっくり。マイペース?なお子さん(18歳位まで)の健やかな育ちを願う親の会です。
【問い合わせ】 代表者 森本 (☎080-5112-3142)
※日時が変更する場合があります。参加希望者はご連絡ください。

●『子育てサロン*ぼかぼか*ひろば』

【日 時】 9月19日(火)、ベビーマッサージ午前10時30分～11時10分、リトミック午前11時30分～午後0時10分、ジュニアリトミック午後4時～5時
【場 所】 コモア内ウエスト4丁目集会所
【内 容】 リズム体操、工作、親子で楽しむ簡単料理など
【問い合わせ】 山本 (☎090-4420-3521) (☎63-6623)

おめでた・おくやみ

誕生

- ▶巖地区
坂本光(渉)
- ▶島田地区
中島莉菜(裕)
中村陽菜(和義)
- ▶上野原地区
園田結梨(哲太郎)
降矢朔(大輔)
- ▶秋山地区
井上陽菜乃(政司)

婚姻

- ▶巖地区
澤田誠=杉本真知子
- ▶上野原地区
小侯涼太=渡邊真由
- ▶秋山地区
関戸崇通=加藤友香

死亡

- ▶甲東地区
安藤誠(廣一)
- ▶巖地区
大塚貢(真一)
- ▶島田地区
平本八千代(真一)
小侯正雄(昌道)
- ▶上野原地区
歌田實(勝美)
吉村公江(奈良秋栄)
相馬清(かつ子)
金瀧誠(文夫)
佐藤正信(佳功)
市川敏治(聖一)
水越幸雄(一之)
石井アイ子(修)
西野愛子(一徳)
- ▶桐原地区
山口きくの(正喜)
- ▶西原地区
長田アイ子(久田正子)
- ▶秋山地区
原田ひろ江(一之)
小侯絹子(智明)

()は、誕生の場合が保護者、死亡の場合が届出人です。
【敬称略 順不同】
=7月届出分=

広報うえのはら おトクーポン

クーポンは、切り取ってお使いください。

おトクーポン
焼き肉 ジャンク味
上野原 3648 ☎0554(63)3377
月曜日～木曜日、10,000円以上の食事された方

おトクーポン
SLOW LIFE
上野原 4006-8 ☎0554(56)8058
SLOW LIFEで夜のお食事をされた方は
レギュラー珈琲無料!

おトクーポン
ファミリョウ ハラダ
上野原 2012 ☎0554(62)3225
国産品クンせ、肌着、男性用・婦人用各種

おトクーポン
風林亭
ハツ沢 1380-1 ☎0554(63)5588
通常2,000円のおどんランチセットから

おトクーポン
シーツ SIEG
上野原 3632 ☎0554(63)2882
ランチメニューをご注文で

クーポンは、
切り取ってお使いください。

11:00~14:00
17:00~21:00
定休日/火曜 営業時間/月17:00~21:00 土

定休日/日曜 営業時間/11:00~22:00

定休日/水曜 営業時間/9:00~18:00

定休日/火曜 営業時間/11:00~14:00

定休日/水曜 営業時間/11:30~15:00

スマイル ニュース SMILE NEWS

129

「もし、自分の地域だったら」 ～他の地域の災害も、大切な教訓に～ 富士・東部地域防災リーダー養成講座

7月21日(金)、22日(土)に行われた「富士・東部地域防災リーダー養成講座」に私たち市男女共同参画推進委員会が参加しました。昨年の講座には、女性の参加者が少なく感じましたが、今年は、富士吉田市の女性消防団員が参加するなど、全参加者の2割にあたる女性の参加がありました。災害時における女性の関わり方の必要性が浸透してきたと感じています。

ここ数年は、いくつもの大きな災害が発生し、テレビなどでその様子を目にする機会が増えたと思います。今回参加した講座では、講師の山下博史さん(NPO法人災害・防災ボランティア未来会代表)から「なんとなく災害のニュース映像を見るだけでなく、この災害がここで起きたらどうなるかと想像し、避難の具体的なイメージを持つことが大切だ」との話がありました。

また、地震対策については、家具の転倒被害が出た場面を実際に見た講師自身の経験から、新聞紙を使った簡易な方法でも被害を最小限に防ぐことができるといった説明がありました。

防災訓練をはじめ災害と向き合うことは、特別なことではなく、テレビを見ているときなど、日常生活を送るなかでもできる。今、この瞬間でもできることを行動に移すだけで、命を守ることに繋がると、講座に参加して感じました。

【問い合わせ】市男女共同参画推進委員会
(総務課行政防災担当内) ☎ 62-3117

リンデン だより LINDEN DAYORI

市立図書館

一般書

- ◇『四時過ぎの船』
古川真人/著 新潮社
- ◇『銀河の通信社』
長野まゆみ/著 河出書房新社

児童書

- ◆『恋する熱気球』
梨屋アリエ/著 講談社
- ◆『空で出会ったふしぎな人たち』
斉藤洋/作 高島純/絵 偕成社

絵本

- 『あやしい妖怪はかせ』
西村繁男/絵 小森香折/文 アリス館

図書館イベント

◆子ども映画館『スイミー』
日時 9月9日(土) 午前10時～10時30分、 午後2時～2時30分
◆おはなし会『ながねぎきょうだい』ほか
日時 9月16日(土) 午後2時30分～ ◎たんぼぼ会
◆リンデンドーム朗読館 『くじけないで』柴田トヨ/作 ほか
日時 9月24日(日) 午後2時～ ◎上野原朗読の会
◆親子文芸講座 『ピース教室』
日時 9月23日(土・祝) 午後1時～2時
◆ライブラリーキッズルーム ～英語絵本おはなし会～ アニメ『ピーターパン』ほか
日時 9月2日(土) 午前10時～正午 ～子どもおはなし図書館～ 『おつきさんこんばんは』
日時 9月19日(火) 午前11時～正午

※ライブラリーキッズルーム終了後、幼児と保護者を対象に会議室を開放しています。ぜひご利用ください。

《開館時間》

- 水・金・土・日 午前9時30分～午後5時
- 火・木 午前9時30分～午後7時

【問い合わせ】市立図書館 ☎ 63-5241

『新規甲種防火管理者資格付与講習会』を実施します。

- 日時 10月23日(月)～24日(火)
《23日》午前9時50分～午後4時50分
《24日》午前9時50分～午後3時55分
※受付は午前9時20分から行います。
- 場所 もみじホール2階会議室
- 定員 90名(定員になり次第締め切り)
- 費用 6500円
- 申込方法 申込用紙に必要事項を記入し、費用と合わせて、消防総務課に直接申込ください。
※申込用紙は、消防総務課に用意してあります。
※日本防火・防災協会ホームページからもダウンロードできます。

【問い合わせ】
消防総務課予防担当 ☎ 62-4671

市地域雇用創造協議会 雇用拡大メニュー 『実践成果物公開セミナー』

- 対象者 市内事業者・創業希望者
- 日時 9月30日(土)
《1回目》午後1時～午後3時30分
《2回目》午後4時30分～午後7時
- 場所 もみじホール2階会議室2
- 内容 キヌアを使ったレシピの公開・試食
- 費用 無料
- 申込期限 9月22日(金)

▶キヌア

【問い合わせ】
市地域雇用創造協議会 ☎ 56-8858

調査にご協力ください!! 『就業構造基本調査』

総務省統計局では、10月1日現在で就業構造基本調査を実施します。調査をお願いする世帯には、9月下旬に調査員が伺い、調査書類をお配りします。回答は、パソコンやスマートフォンを使って、簡単にインターネットで回答することが可能となっています。調査の趣旨をご理解いただき、回答をお願いします。

調査にご協力ください!!



働く人の明日をつくる。

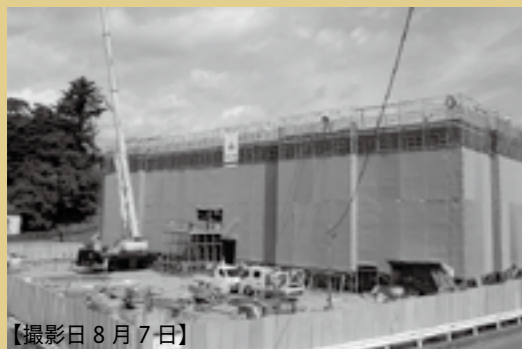
【問い合わせ】
企画課政策推進担当 ☎ 62-3118

市地域雇用創造協議会 人材育成メニュー 『林業基礎知識修得セミナー』

- 対象者 求職者、創業希望者
- 日時 9月24日(日)、10月14日(土)、20日(金) 午前10時30分～午後3時30分
- 場所 《1日目》もみじホール3階会議室8
《2・3日目》もみじホール入口集合
- 定員 12名(定員になり次第締め切り)
- 費用 無料
※2、3回目は実習のため、イベント保険への加入をお勧めします(任意)
- 申込期限 9月15日(金)

【問い合わせ】
市地域雇用創造協議会 ☎ 56-8858

報告 (仮称)上野原市総合福祉センター建設工事の進捗



【撮影日 8月7日】

【現場の様子】
柱や梁(はり)への鉄筋の組み込みが終わり、2階から3階への立ち上げ準備を終えました。8月初旬にはコンクリートを流し込み、いよいよ建物の骨格部分が完成します。また、1階部分にはサッシが入り、今後、徐々に内装工事に入っていきます。

【進捗状況】
平成29年7月末現在、完成までの進捗率は35%で、予定どおり順調に工事が進んでいます。なお、工期は、平成30年1月31日まで、同年4月の開所予定です。

●問い合わせ 福祉課福祉施設担当 ☎ 62-3115



無生野大念仏保存会

会長 藤本國虎さん

私もそうだったように、子どもの頃におぼえた踊りは、一生忘れない。孫の龍虎には、たとえ進学や就職でこの地を離れたとしても、この大念仏の時だけは帰って来てほしい。そして600年以上の間、託し託されてきた先祖の想いを大切にしてほしい。



藤本龍虎さん 吉田高2年

小学1年生からはじめた大念仏。すでに12年間続いています。約600年の歴史の1コマでも携われることは、とても誇りに思っています。これからもできる限り、大念仏を踊り続けたいです。



8月16日(水)午後8時、鉦と太鼓の音が無生野集会所に響き渡り、白装束の演者が部屋の中に入る。「無生野大念仏」が始まった。
大念仏とは、人々が一堂に集まり念仏を施す行事。念仏がともなうところから「念仏踊り」や「踊り念仏」といわれる。江戸時代まで各地で見られたこの大念仏は、山梨県内で現在、完全な形で残っているのが、秋山地区の無生野だけだ。
この大念仏は、南北朝時代の直前に無念の死を遂げた護良親王と雛鶴姫を追善供養するために始まったといわれる。
毎年、旧暦の正月16日と太陽

暦の盆8月16日の年2回行われる。以前は、その年に選ばれた当役の家で行われたが、今では、集会所で行われている。
太鼓や鉦をたたきながら踊り、拍子は勇壮で「一本太刀」、「二本太刀」、「ぶつばらい」、「祈祷」の演目を行う。
国の指定重要無形民俗文化財にも指定されている無生野大念仏は、保存会が継承にあたり、地域のみなさんとともに約600年とも言われる歴史を守り繋いでいる。
この日も先祖から託された想いを背負う保存会会長や演者たちが、若い世代にその想いや技術を継承した。

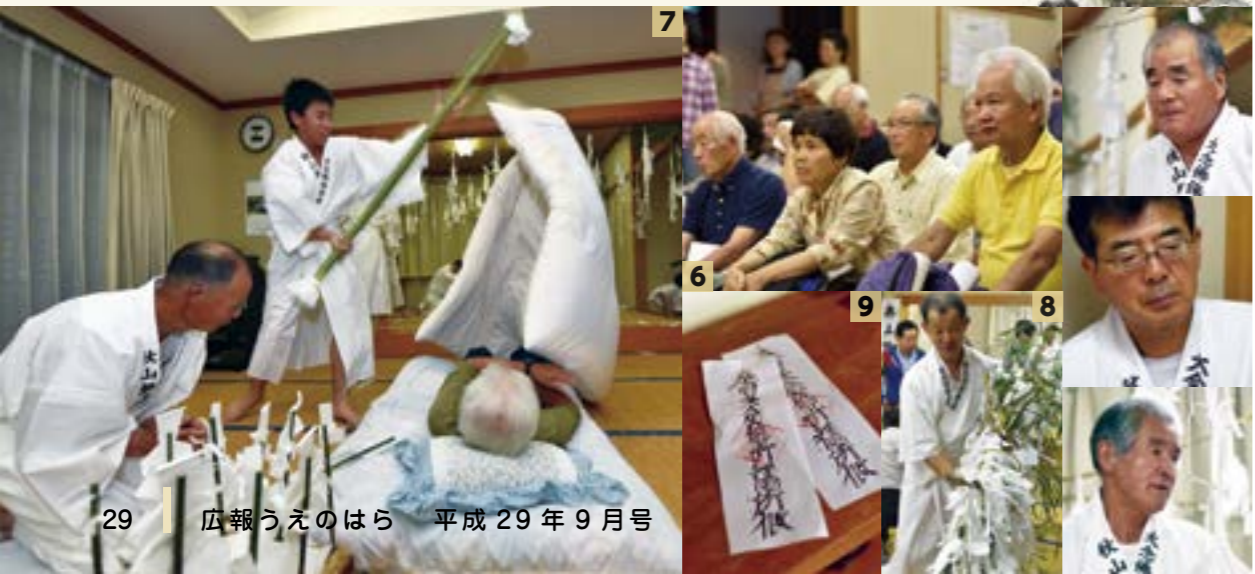
写真説明【平成29年2月12日(旧暦の正月16日)、8月16日(太陽暦の盆16日)に撮影した写真を掲載しています】

- ①太鼓振りと棒振り、太刀振りの3人の演者が鳴り物にあわせて踊る一本太刀。②白装束の演者3人が入場し大念仏が始まる。③玄関先に飾られた提灯。無生野ではなく無上野と書かれているのにはいわれがある。④教主の祈祷。⑤棒振りは参加せず、太鼓振りと両手に太刀を持った太刀振りの二人で踊る。⑥県外からも多くの見物客が訪れていた。⑦演目の中で最も特異な『ぶつばらい』。⑧道場に飾られていた幣束や縄は、大念仏が終わるとひとつひとつまとめられ、集会所近くの大念仏供養塔に供えられる。⑨道場中央に飾られていたお札は、ご利益があるとされ、参加者に配られる。

※番号がない写真は、無生野大念仏の演者たち。【問い合わせ 社会教育課社会教育担当 ☎62-3409】



大念仏供養塔

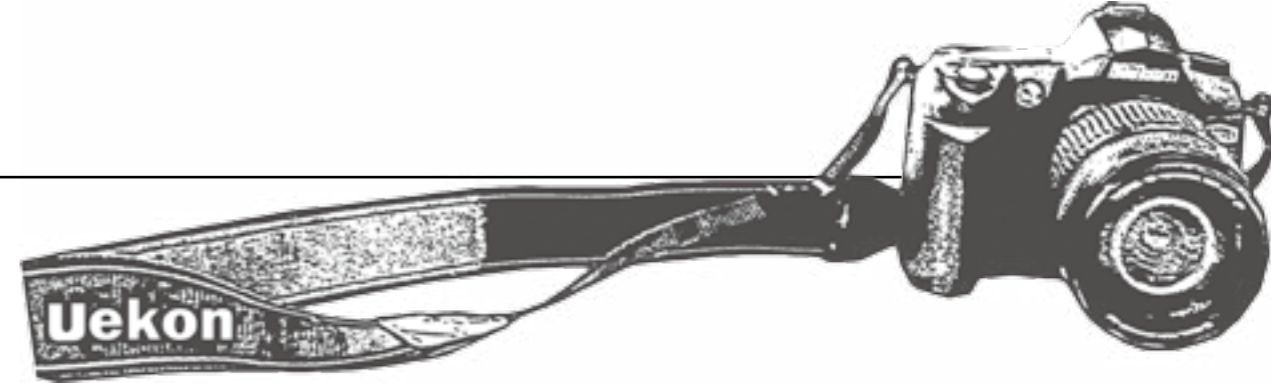


想いを託す 託される者

600年の歴史を繋ぐ保存会と無生野区の人たち

国指定重要無形民俗文化財
無生野大念仏





クローズアップニュース

もしもしこちら市長室！

うえのはら健康家族

くらしのガイド

すくすく育てうえのはらっ子

リンデン・スマイルニュース

寄り道うえのはら

クローズアップニュース

もしもしこちら市長室！

うえのはら健康家族

くらしのガイド

すくすく育てうえのはらっ子

リンデン・スマイルニュース

寄り道うえのはら

職場体験!! 広報うえのはらの編集に挑戦!!

8月10日(木)、市役所で、上野原高校2年生の加藤智章さんと岡本光太さんが市企画課で職場体験を行いました。職場体験では、広報うえのはらの取材から記事作成、編集などを行いました。二人は慣れない写真撮影や記事作成に悪戦苦闘しながらも、寄り道うえのはらのコーナーをつくりあげました。右ページの夏のちびっこキャンプの写真と記事は、二人がつくったものです。



▲編集ソフトで広報うえのはらを制作する岡本さんと加藤さん

▼浪曲師の木村勝千代さんの心のこもった口演



浪曲で紡ぐ!! 平和な世界!!

8月6日(日)、もみじホール2階会議室2でピースフェスタ2017特別口演が行われました。この口演では、市内在住の浪曲師、木村勝千代さんが原爆秘話「伸ちゃんの三輪車」を浪曲で語りました。会場に訪れた100名の観覧者は、三味線を伴奏にした独特の節と心のこもった語りには聞き入っていました。

▼照明がすべて消された会場の夜空に、大輪の花火が広がった



大輪の花!! 秋山の夜空に咲く!!

8月13日(日)、秋山中学校グラウンドで、秋山ふるさと祭りが行われました。これは、秋山青年部が主催して毎年この時期に行われるものです。また、会場には、焼きそば、金魚すくいなどの出店が並び、会場中央には、やぐらを建て、秋山音頭などの曲に合わせて盆踊りが行われました。祭りのクライマックスでは、打ち上げ花火が上がり、夜空いっぱいに広がる花火を見るたびに、来場者から声援があがりました。

編集後記

先日、福島県南相馬市に行ってきました。昨年7月に避難指示区域のほとんどが解除になり、除染もすすんでいる南相馬市。私が訪問した日は、市民盆踊り大会が行われていて、多くの市民で賑わっていました。そこには、上野原市と変わらない日常がありました。

今回、南相馬市児童受入事業や南相馬市の訪問で感じたことは『優しさ』です。受入事業では、子どもたちが互いを思いやり協力し合って活動していました。また、急な訪問にもかかわらず、取材に協力し集まってくれた子どもたちやその親のみなさん。そして全面的に今回の特集記事作成に協力してくれた桜井市長をはじめ市職員、NPOのみなさん。そのすべての方から、言葉で表すことができない優しさを感じました。きっと、震災や原発事故を経験してきたからこそなのだと思います。そんな魅力的な人がいる南相馬市に愛着がわきました。

南相馬市では、毎年7月下旬に、1000年の歴史を持つ相馬野馬追祭が開催されるとのこと。来年は、この祭りを見学したいです。みなさんも南相馬市に足を運んでみてはいかがでしょうか。

(大神田)



▲ドキドキ、ワクワクの3日間を過ごす子どもたち

世界に1つだけのパズル作り!!

8月10日(木)から3日間、県立ゆずりはら青少年自然の里で、夏のちびっこキャンプが行われました。このキャンプは小学校1年生～3年生を対象に、自立することを目的として開催されたものです。キャンプには市内の小学生だけでなく、千葉県からの参加もありました。10日(木)には水遊び、花火などが行われ、なかでもクラフト体験では、参加した46名の小学生が世界に一つしかない思い思いのパズルをつくりました。

夏休みの学校!! 勉強に励む!!

7月26日(水)から10日間、上野原小学校で、学力フォローアップ夏期教室が行われました。この教室は、子どもたちに学ぶ楽しさやわかる喜びを感じさせ、基礎学力と学習意欲の向上を図る目的で3年前から行われています。今回は、市内の各小中学校の協力により行われ、参加した児童は、学校の先生や支援員の指導を受けながら真剣に学習していました。



▲学校の先生や支援員のみなさんの指導にも熱がこもります

▼展示されたパネルからは、原爆の恐ろしさが伝わってきます



核兵器廃絶!! 悲劇を繰り返さないために!!

8月5日(土)から2日間、もみじホール1階会議室1で、ピースフェスタ2017「原爆と人間」パネル展が行われました。会場には、夏休み中の子どもたちも多く訪れ、子どもたちは、原爆の悲惨さを伝えるパネルのすべてを、くいいるように見ていました。